

今週（9月8日から9月12日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールON物は、週を通して0.475～0.478%近辺での出会いが中心となった。加重平均レートは、11日(木)に試し取りが行われた影響から0.480%まで上昇したが、それを除くと0.477%で推移した。市場残高は、3兆円台前半で推移し、一時的に増加していた運用額が元に戻ったことから、前週対比では減少となった。

ターム物は、保険業態による期内物の運用と、証券業態による9月末越え物での調達为中心となり、0.4%台後半～0.7%近辺で出会いが見られた。

日銀当座預金残高は、週初516兆円程度からスタートし、国債の発行や貸出増加支援資金供給オペの新規貸付け終了を受けて、500兆円を割り込み、499兆円台での着地見込みとなった。

●債券レポ市場

今週のO/N GCは、0.49～0.505%のレンジでの取引となった。8日(月)から10日(水)は0.495%近辺の狭いレンジで推移したが、11日(木)は輪番オペの実施が意識され、前場は0.49%の出会いが見られたものの、後場はレートが上昇し0.505%の出会いも見られた。12日(金)も0.495～0.505%程度で出会いが見られた。

SCは、カレント銘柄近辺や、チーベスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、3Mゾーンと6Mゾーンは堅調に推移し、1Yゾーンは軟調に推移した。

9日(火)に実施された6M物入札は、強い結果となり、結果発表後のセカンダリーでは、強含みで推移した。

12日(金)に実施された3M物入札は、事前予想よりも若干強い結果となり、結果発表後のセカンダリーでは、軟調に推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、小売り、卸売り、鉄鋼などの業態で大型発行が見られた。

市場残高については、8月下旬に26兆円台まで回復したが、その後はやや減少し、足元では25兆円前後で落ち着いた推移となっている。

発行レートについては、0.5%以上で推移しており、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきが見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
9/8 (月)	43,643.81	1.565	148.50	0.477	0.490	5,159,600
9/9 (火)	43,459.29	1.560	147.33	0.477	0.489	5,152,600
9/10 (水)	43,837.67	1.565	147.44	0.477	0.491	5,135,100
9/11 (木)	44,372.50	1.575	147.45	0.480	0.489	5,109,500
9/12 (金)	44,768.12	1.595	147.31	0.477	0.494	4,989,200

来週（9月15日から9月19日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
9/15 (月)	敬老の日				
9/16 (火)	7月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30)				米FOMC(1日目) 8月の米小売売上高 8月の米鉱工業生産・設備稼働率 7月の米企業在庫
9/17 (水)	8月の貿易統計(財務省 8:50)	TDB 1Y 9/22発行 32,000億円	20Y 9/18発行 8,000億円		米FOMC(2日目) FRB 米経済見通し発表 8月の米住宅着工件数 8月のユーロ圏消費者物価指数改定値 8月の英消費者物価指数
9/18 (木)	日銀金融政策決定会合(1日目14:00~) 4-6月期の資金循環統計速報(日銀 8:50) 7月の機械受注統計(内閣府 8:50) 7月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)	TDB 3M 9/22発行 43,000億円			英中銀MP
9/19 (金)	日銀金融政策決定会合(2日目9:00~) 日銀総裁定例会見(15:30) 8月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)				

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
9/15 (月)			0				0	0	
9/16 (火) 日銀予想	300	▲ 3,600	▲ 3,300	国債補完	1,800		1,800	▲ 1,500	TDB3M発行▲43,000償還44,000 流動性供給▲6,500 個人向け▲3,500償還900
9/17 (水) 弊社予想	1,000	▲ 3,000	▲ 2,000	共通担保	▲ 8,000		▲ 8,000	▲ 10,000	
9/18 (木) 弊社予想	▲ 500	▲ 8,500	▲ 9,000				0	▲ 9,000	20Y発行▲8,000
9/19 (金) 弊社予想	▲ 500	▲ 2,500	▲ 3,000				0	▲ 3,000	
週間合計	300	▲ 17,600	▲ 17,300	—	▲ 6,200	0	▲ 6,200	▲ 23,500	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれることから、レートは0.477%近辺での推移が予想される。債券レポ GC O/N物は、レートは0.470~0.505%程度の水準で推移することが予想される。短国市場は、17日(水)に1Y物、18日(木)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、18日(木)、19日(金)に日銀金融政策決定会合が予定されており、今後の政策金利動向が注目される。

主要なイベントは、国内では、18日(木)に7月の機械受注統計、18日(木)~19日(金)に日銀金融政策決定会合、19日(金)に8月の全国消費者物価指数(CPI)、海外では、16日(火)に8月の米小売売上高、16日(火)~17日(水)に米FOMC・米経済見通し発表、17日(水)に8月の米住宅着工件数、8月のユーロ圏消費者物価指数改定値、8月の英消費者物価指数、18日(木)に英中銀MPCなどが予定されている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされようようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。